デイホーム通信 No.203

各地区のデイホームをご紹介★

清明地区社会福祉協議会
水曜サロン

もしバナカードも使って「もしもの話・・・」

清明地区水曜サロンでは、12月に医療ソーシャルワーカーの方に来て頂き、現場での体験や患者の気持ちに寄り添ったケース等のお話を伺いました。

その上で「もしバナカード」を使い、余命半年となったら最も重要だと思うのは何か?を3つに絞ってもらいました。

グループでの話し合いも活発で、他の人の考えにも耳を傾けておられました。

ご自身の人生の集大成の希望を、家族に伝える大切さを感じていただけたのでは、と思っています。

「つぐみノート」には延命治療に様々なものが有る事や、身体状況に応じた希望を何回も書き変えられるようになっています。活用してみてはいかがでしょうか。

清明地区地域支え合い推進員　山口　仁美

宮ノ下地区社会福祉協議会
コスモスサロン

毎年恒例！お正月のお箸袋

宮ノ下地区では12月のデイホームで、お正月に家族や親せきが集まったときに使う箸袋作りが恒例となっています。

折り紙の工程はとてもシンプルですが、和柄の折り紙、水引き、干支のシール、ハンコなどを添えると、あたたかみのある素敵なお箸袋に仕上がります。

初年度は「何人来るんや?」と人数を思い出すところから。

それが3年目ともなると、顔を思い浮かべながら筆ペンで名前を書いたり、おみくじシールを貼りお孫さん用と大人用を作り分けたり。

おばあちゃんが用意するお正月の箸袋。

デイホームの恒例が、それぞれのご家庭の恒例にもなっていったらうれしいです。

地区地域支え合い推進員　濱屋　晴香